

令和5年度 フルーン病害虫防除暦

(「ナシヒメコン」設置を前提とした防除)

JAながの 須高ブロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策		
1 発芽前 (3月中旬) 月 日	— NC M3	水	98 ℓ		300 ℓ	越冬病害虫 カイガラムシ類	発芽前	—	・カイガラムシの重要防除時期なので必ず全園散布し、薬剤散布は温暖無風時に枝幹部を洗う様に丁寧に行うこと。散布ムラは手散布で補う。		
		スプレーオイル	2 ℓ	50 倍							
		トレノックスフロアブル	200 mℓ	500 倍						14 日前まで	3 回以内
開花1~2輪咲き 月 日	2	展着剤	10 mℓ	10,000 倍	300 ℓ	灰星病	前日まで	3 回以内			
		ロブラル水和剤	66 g	1,500 倍							
1回目 「ナシヒメコン」の取り付け 10a当り100本 4月中旬までに設置											
シンクイムシ類の重点防除期間											
2 5月上旬 月 日	— M3 41+25 4	水	100 ℓ		400 ℓ	黒斑病 かいよう病 炭疽病 ハマキムシ類 アブラムシ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類	—	—	・カイガラムシ類の発生が多い園では、「アプロードフロアブル」(1,000倍/収穫14日前まで/年間2回以内)を加用散布する。 ・④「モスピラン顆粒水溶剤」は、マメコバチなどの花粉媒介昆虫に影響があるので注意する。		
		展着剤	10 mℓ	10,000 倍							
		トレノックスフロアブル	200 mℓ	500 倍						14 日前まで	3 回以内
		アグリマイシン-100	66 g	1,500 倍						30 日前まで	2 回以内
		④ モスピラン顆粒水溶剤	25 g	4,000 倍			前日まで	3 回以内			
シンクイムシ類の重点防除期間											
3 5月中・下旬 (前回より12日) 月 日	— 3 41+25 1	水	100 ℓ		400 ℓ	かいよう病 黒斑病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類	—	—	・④「ダイアジノン水和剤34」は、リンゴ樹に飛散すると生理落果を生じるので十分注意して散布する。 ・④「バイスロイドEW」は、蚕毒・魚毒が強いので使用地域が限定されています。		
		展着剤	10 mℓ	10,000 倍							
		④ バイスロイドEW	33 mℓ	3,000 倍						14 日まで	2 回以内
		アグリマイシン-100	66 g	1,500 倍						30 日前まで	2 回以内
		④ ダイアジノン水和剤34	100 g	1,000 倍			21 日まで	4 回以内			
シンクイムシ類の重点防除期間											
4 6月上旬 (前回より12日) 月 日	— 1 2	水	100 ℓ		500 ℓ	灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類	—	—	・「プラム」との混植園で、黒斑病・かいよう病に弱い品種(「ソルダム」「貴陽」「菅野中生」「秋姫」「紅りょうぜん」)がある場合は、「マイコシールド」(2,000倍/収穫21日前まで/年間3回以内)を加用散布する。 ・④「ダイアジノン水和剤34」に替えて④「ダーズバンDF」(3,000倍/収穫14日前まで/年間2回以内)を散布しても良い。 ・④「ダイアジノン水和剤34」は、リンゴ樹に飛散すると生理落果を生じるので十分注意して散布する。 ・④「ダイアジノン水和剤34」は散布後21日間は収穫できない為、収穫の早い品種(大石早生)には④「ダイアジノン水和剤34」に替えて「エクシレルSE」(5,000倍/収穫前日まで/年間3回以内)を散布する。		
		展着剤	10 mℓ	10,000 倍							
		④ ダイアジノン水和剤34	100 g	1,000 倍						21 日前まで	4 回以内
		ロブラル水和剤	66 g	1,500 倍			前日まで	3 回以内			
シンクイムシ類の重点防除期間											
5 6月中旬 (前回より12日) 月 日	— 11 4	水	100 ℓ		500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	—	—	・今回防除よりシンクイムシ類の重要防除時期の為、散布ムラの無い様、丁寧に散布する。 ・シンクイムシ類の発生が多い園では、④「モスピラン顆粒水溶剤」の効果を上げる為、4,000倍から2,000倍に散布倍率を変更して散布しても良い。		
		展着剤	10 mℓ	10,000 倍							
		フリントフロアブル25	50 mℓ	2,000 倍						前日まで	2 回以内
		④ モスピラン顆粒水溶剤	25 g	4,000 倍			前日まで	3 回以内			

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病虫害 *太字は重点 病虫害	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
シンクイムシ類の重点防除期間									
6 6月下旬 (前回より12日) 月 日	— 3 3	水 展着剤 オンリーワンフロアブル アーデントフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 50 mℓ	— 10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 アブラムシ類	— 前日まで 前日まで	— 3回以内 3回以内	・果粉(ブルーム)溶脱防止及び果実汚染防止の為、収穫1か月以内の品種には展着剤を加用しない。
2回目 「ナシヒメコン」の取り付け 10a当り50本 追加設置 (6月下旬から7月下旬)									
シンクイムシ類の重点防除期間									
7 7月上・中旬 (前回より11日) 月 日	11+7 4	水 ナリアWDG アルバリン顆粒水溶剤	100 ℓ 50 g 50 g	— 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	2回以内 3回以内	・今回防除より、シンクイムシ類の防除強化の為、散布間隔を11日間とする。
シンクイムシ類の重点防除期間									
8 7月下旬 (前回より11日) 月 日	3 3	水 アーデントフロアブル オンリーワンフロアブル	100 ℓ 50 mℓ 50 mℓ	— 2,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類 ハダニ類	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	・ハダニ類の発生が多い園では、「ダニコングフロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間1回)を加用散布する。
シンクイムシ類の重点防除期間									
9 8月上旬 (前回より11日) 月 日	7 3	水 フルーツセイバー Ⓜ イカズチWDG	100 ℓ 66 mℓ 66 g	— 1,500 倍 1,500 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	3回以内 2回以内	・Ⓜ「イカズチWDG」は、蚕毒・魚毒が強いので使用地域が限定されています。
シンクイムシ類の重点防除期間									
10 8月中旬 (前回より11日) 月 日	17 4	水 パスワード顆粒水和剤 アルバリン顆粒水溶剤	100 ℓ 66 g 50 g	— 1,500 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	2回以内 3回以内	
シンクイムシ類の重点防除期間									
11 9月上旬 (前回より11日) 月 日	3 3	水 アンビルフロアブル Ⓜ テルスターフロアブル	100 ℓ 100 mℓ 33 mℓ	— 1,000 倍 3,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	2回以内 2回以内	・Ⓜ「テルスターフロアブル」は、蚕毒・魚毒が強いので使用地域が限定されています。
シンクイムシ類の重点防除期間									
オータムキュート 特別防除 9月中旬 (前回より11日) 月 日	3 28	水 オンリーワンフロアブル エクシレルSE	100 ℓ 50 mℓ 20 mℓ	— 2,000 倍 5,000 倍	500 ℓ	灰星病 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	・コスカシバ防除の為、「ガットキラー乳剤」(100倍/落葉後/年間1回)を休眠期に主幹に散布する。(落葉後の散布)